

製品安全データシート

作成日：2019 年 07 月 11 日

改訂日：2026 年 07 月 03 日

確認日：2026 年 07 月 03 日

1. 化学品及び会社情報	
製品名	CyFlow CLEAN
〔構成品名〕	—
他の特定手段	—
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911（代表）
緊急連絡電話番号	(078) 991-1911
推奨用途	臨床検査測定用
使用上の制限	・推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の指示を仰ぐこと ・推奨用途以外への使用は禁止する
2. 危険有害性の要約	
化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	皮膚腐食性/刺激性 区分 1B 眼に対する重篤な損傷性/刺激性 区分 1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分 1 水生環境有害性 長期(慢性) 区分 2
GHS ラベル要素	
絵表示	  GHS05 GHS09
注意喚起語	危険
危険有害性情報	H314 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き	安全対策	P260	ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。
		P273	環境への放出を避けること。
応急措置		P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
		P303+P361+P353	皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。
		P305+P351+P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
		P310	直ちに医師に連絡すること。
保管		P391	漏出物を回収すること。
	廃棄		該当しない
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の有害危険性		情報なし	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
成分の化学名	次亜塩素酸ナトリウム
濃度又は濃度範囲	有効塩素濃度 5.0%
CAS 番号	7681-52-9
化審法 官報整理番号	1-237
安衛法 官報整理番号	640 の 2

4. 応急措置

必要な応急処置の説明	
吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし
5．火災時の措置	
適切な消火剤	水、粉末、泡、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	情報なし
6．漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	保護眼鏡/保護面を着用すること。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	乾燥砂、オガクズ、ウェス等で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。
二次災害の防止策	情報なし
7．取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
安全取扱注意事項	眼及び皮膚への接触を避けること。
衛生対策	情報なし
保管	
安全な保管条件	室温に密栓して保管する。
安全な容器包装材料	情報なし
8．ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	情報なし
設備対策	情報なし
保護具	
呼吸用保護具	適切な保護マスクを着用すること。
手・皮膚の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	適切な保護衣を着用すること。
眼、顔面の保護具	必要であれば、保護シールドを使用すること。
	適切な眼の保護具（保護眼鏡等）を着用すること。

特別な注意事項	情報なし
9.物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色～淡黄色透明
臭い	特有の刺激臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	強アルカリ性
動粘性率	データなし
溶解度	水と自由に相溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	約 1.0
相対ガス密度	データなし
粒子特性	液体のため非該当
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし
10.安定性及び反応性	
反応性	データなし
化学的安定性	通常取り扱いにおいて安定。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	酸性溶液との混合
危険有害な分解生成物	塩素ガス発生のおそれ
11. 有害性情報	
急性毒性	
経口	有効塩素濃度 10%の場合、マウス経口 LD ₅₀ 5.8mL/kg
経皮	5%溶液で幼児経口致死量 15～30mL
吸入	

皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ウサギのドレイス試験：5%溶液 0.01mL で 11/110、0.1mL で 40/110 であった。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし
その他の情報	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	純物質としての次亜塩素酸ナトリウム：LC ₅₀ 5.9mg/L(96h 魚類)
水生環境有害性、長期(慢性)	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	本品単体の場合、大量の水と共に流してください。 行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
付着している汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。

14. 輸送上の注意

国際規制	
航空規制情報（ICAO/IATA）	ICAO・IATAの規定に従う
国連番号	1791

品名（国連輸送名）	HYPOCHLORITE SOLUTION
国連分類（危険有害性クラス）	Class 8
容器等級	III
海上規制情報（IMO）	IMO の規定に従う
国連番号	1791
品名（国連輸送名）	HYPOCHLORITE SOLUTION
国連分類（危険有害性クラス）	Class 8
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コード	該当しない
によるばら積み輸送される液体物質	
国内規制	
航空規制情報	輸送危険物に該当しない
海上規制情報	輸送危険物に該当しない
陸上規制情報	輸送危険物に該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	容器、包装に漏れがないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

薬機法	非該当
安衛法	次亜塩素酸ナトリウム：ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 (規則別表第 2 の 640 の 2)、皮膚刺激性有害物質、危険物 (酸化物の物、政令番号 3)
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	非該当
水質汚濁防止法	次亜塩素酸ナトリウム：指定物質(政令第 3 条の 3 第 11 号)
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
スイス連邦法 揮発性有機化合物の特別 税法	非該当

16. その他の情報

その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。 ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の
--------	--

略語

見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。

ACGIH：アメリカ合衆国産業衛生専門官会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists)

TWA：許容濃度(Time-Weighted Average)

ICAO：国際民間航空機関(International Civil Aviation Organization)

IATA：国際航空運送協会(International Air Transport Association)

IMO：国際海事機関(International Maritime Organization)

IBCコード：国際バルクケミカルコード(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk)

薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

安衛法：労働安全衛生法

化管法：化学物質排出把握管理促進法

毒劇法：毒物及び劇物取締法

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

NITE：独立行政法人製品評価技術基盤機構(National Institute of Technology and Evaluation)

データの主要な文献参照と出典

NITE GHS 分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI